

## 会 議 録

会議名	平成26年度 第3回 垂井町地域公共交通会議
日 時	平成27年1月22日(木) 13:30~15:00
場 所	垂井町役場 3階 大会議室
出席者	委員14名(うち代理3名) 事務局4名
欠席者	多賀 吉令 委員
傍聴者	無 し
次 第	1. 会長あいさつ 2. 議 事 (1) 目標(案) (2) 事業計画(案) 3. その他
<b>議事要旨</b>  <b>事務局：</b> それではみなさん改めましてこんにちは。本日はみなさん足下の悪い中お集まり頂きまして誠にありがとうございます。ただいまから第3回目となります、垂井町地域公共交通会議を開始させていただきます。本日、司会進行を努めさせていただきます、企画調整課長の栗本でございます。それでは、本会の会長であります、副町長の永澤 幸男よりご挨拶申し上げます。  <b>1. 会長あいさつ</b> 皆さん、ご苦勞様でございます。ご紹介がありました、副町長の永澤でございます。今回3回目と言うことで年も改めまして、今年初めて開催させていただくわけでございますが、過去ワークショップなり、それから町民の皆さんの意見なり、委員の皆さんにいただいた意見を集約させて頂いて、概ねの方向性が出てきています。それらをもとに皆様方のご意見を頂きたいと思っておりますので、本日はよろしくお願いいいたします。以上簡単でございますが、挨拶とさせていただきます。	

**事務局：**

それでは、今回の出席ですが、出席委員数は委員定数15名のうち、代理3名を含む14名で、同要綱第4条第2項より本会議が成立していることを報告させていただきます。

それでは協議に入らせていただきます。同設置要綱第3条第3項に基づきまして、永澤会長より議事進行をお願いします。

**会 長：**

それでは、議事進行に入らせて頂きます。皆様のご協力をいただきながら進めさせて頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

皆様方のご協力を頂きまして、目標（案）とそれから事業計画（案）につきまして、それぞれご意見を頂きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいいたします。

それでは早速議事に入りたいと思っております。目標につきまして、事務局より説明させます。

議事1 目標（案）について  
資料1 ページに基づき説明。

**会 長：**

ただいま、事務局から説明があった内容についてですが、目標の1から8番までご提示させていただいております。

こちらの目標につきましては、過去のアンケートによる巡回バスの現況把握、利用者の方のヒアリング、それから住民のワークショップを行う中で、広く意見を出して頂き、そして公共交通の目指す目標としまして、まとめさせて頂いたものです。

この内容を見ておきますと、垂井駅、商業施設、医療施設へのアクセスをより良くしていただきたいというご意見がございます。

バスの主な利用者は高齢者でございます。こまめにニーズを洗い出していくとなりますと、まだこういった目標がある。

あるいはこういったことを盛り込んだ方がいいというご意見がございませ

たら、ご意見を頂戴したいと思います。

**委員：**

具体的に何点か確認させて頂きたいのですが、目標7番の利用者及び住民の満足度ですが、満足度をどこにおくというのかが見えてきません。

今までのアンケートで満足度を取ったかどうかわかりませんが、これに対して、今までのアンケートで満足度が出ていれば、それに対してどうしていくとか、満足度が低ければ、それに対してどうしていくか。

その辺のことを具体的にしておいた方が、良いかなと思いました。

それと目標6番、住民のバス利用率。これはどのような利用率かわかりません。地区の住民がいて、その地区の今の利用者が何%で、目標値は何%になるという、そういったほうが分かるのでは無いかと。そのあたり検討して頂きたいと思います。

**事務局：**

平成25年度のアンケートですが、アンケート調査の中には、満足度という観点での調査はしていません。

今回の住民ワークショップの中では、利用者の視点に立ったご意見で、バスが2台しかないので、台数を増やして充実して欲しいというご意見がございました。

そういったご意見にお答えする形で、満足度向上に繋げていこうという考えもございます。停留所の位置は、正確には確定していませんが、住民ニーズに沿った形で整備していく。停留所の数も増やして、高齢者の足にしていきたいと考えています。

また利用率の内容についてですが、今までパンフレットらしいものを作って参りませんでした。単純に設定した時間を記載した時刻表をコピーして、住民のみなさんにお配りしていました。

今回の計画の中では、先程、会長も申されましたとおり、高齢者を対象として、商業施設、医療施設、それ以外の施設のアクセスを良くし、利用して頂こうと考えています。

そのような中で、パンフレットの作成等をもって住民に効果的に周知して

いくという考えでございます。

**委 員：**

いま現在の成果指標を数字で何とか表していこうということについては、どうお考えでしょうか。相対的に何も無いのに、ただ指標を作って、PDCA サイクルをやっていくという、後で載ってきますけども、指標にかけて、その結果どうなったとか、そういうのが無いと成果指標というのは意味がないのではないかと思いますけども。

**事務局：**

現在、各停留所の乗降者数などもカウントしています。加えて利用者や住民の方に、ご意見を頂きながら進めて行きたいと思えます。指標となる数字は把握していないという状態では無いですが、指標を固めながら進めて行きたいと思えますので、よろしくお願ひします。

**会 長：**

いわゆる利用率をどう設定するか。そういった意味合いの質問であったと思えます。それから満足度については後で説明いたしますが、計画どおり進んでいるか評価するにあたり PDCA サイクルで見ていくには、成果指標はやはり数字で表していく必要があると思えます。

その時にそれぞれ評価をするに当たっては、アンケートなどを実施して、その結果に基づき判断していくことになると思えます。

そのあたりは今後の課題として捉えていきたいと思えますので、事務局よろしくお願ひいたします。

〇〇委員さん、どうでしょうか。

前回の会議では、地元の意見ということで、地元の施設や商業施設など、細かくバスを転回してはというご意見を頂戴していました。

商業施設につきましては、ワークショップでも、そういったご意見がありました。路線編成の中で、多くの施設を組み入れていくと非常に長い路線になると思えますが、そのあたりいかがでしょうか。

**委 員：**

宮代地区は細い道が多いでしょう。今度、路線で走られる予定のバスは、普通車なのか、軽自動車なのか分かりませんが、普通車では少し大きい道が多いものですから、細い道や坂道があって、まがり角がいっぱいあるというような道路ですから、検討して見える車種がどのような車種かわかりませんが、できたら軽自動車くらいの車が良いと思います。

少しでも細い路地に入って頂けるような、車とか、停留所などを考えて頂けるとありがたいと思います。

**事務局：**

私どももご意見頂きましたような状態を目指してもおります。

現在巡回バスは、中型バスで動いているような状態です。新しい運行体制の中では、ワゴンタイプの車種を導入し、現在のバスも1台残しながら運行して行きたいと考えています。

**会 長：**

実際のところ軽自動車ですと、乗れる人員は3人程度になってしまいます。効率性の面を考えて行きますと、やはり極端に小さいバスで、細い路地を運行すると時間もかかります。

そのあたりは検討させて頂きたいと思います。

**会 長：**

それでは、先程質問がありました自動車の大きさなどとも関連がありますが、議事2番目の事業計画案につきまして、事務局より説明を求めます。

議事2 事業計画（案）について

資料1 ページ～5 ページに基づき説明。

**会 長：**

住民アンケートの中から、また第1回目の会議でも、商業施設の中へも行くべきというご意見をいただきまして、今回の運行計画の中に入れさせていた

だいています。

それから JR との接続につきましても、利便性向上ということで乗り継ぎをしっかりとまいります。

バスとバスの間の乗り継ぎも大切でございますが、バスと JR、JR とバスと鉄道との乗り継ぎにおいても利便性の向上を図ってまいります。

もう一つは料金の関係です。行政の限られた予算でございますので、利用者負担を求めていくことも考えてまいります。

分からないところにつきましては、各目標と併せてご意見をいただけたらと思います。

#### 委員：

まず 2 ページですけれども、ピンクなどで色分けしてある路線図ですが、2 ルートあるのを単純に 4 ルートにしているのか。全部白紙に戻してもう一度、路線を引くというやり方でやって見えるのか、おそらくこれを見ていると 2 ルートあるのを単純に 4 ルートにして、若干の修正してやっているのか、そういう考え方でやって見えるのか。その辺がわかりません。

また、300 ㍍以内でアクセスできるようにというのは、いわゆる半径 300 ㍍の円形を並べて最大 600 ㍍ですね、そういった方法で検討しているのか。または人口分布を見てですね、バス停までは 300 ㍍以内として計っているのか。どういう主旨の 300 ㍍か教えてください。

それと、商業施設の乗り入れは、人が負傷したり自家用車が接触したりするものですから、安全対策をしっかりとやっていただきたいです。

あと 3 ページ目の JR との乗り継ぎです。午前中には利用者を電車に乗せる考え方になると思いますが、上り線、下り線とも 20 分台では無く、50 分台に合わせるとなりますと、00 分台だと約 5～7 割の受けが出来ません。

乗り継ぎ時間が 3 分から 5 分位ですが、乗り継ぎには 10 分位の余裕をもっていく必要があると思います。

ダイヤを 50 分台で設定していくということであれば、乗り継ぎ時間を考えてダイヤを組んでいただきたいと思います。

それと 4 ページ目の広報の把握ですけれども、路線図をつくったらどこの病院とか名前を入れていって頂きたいかなと思います。

**事務局：**

何点かございましたが、ルートの関係でございますが、2ルートから4ルートにした経緯でございますが、決して今の2ルートをそのまま使っているわけでは無く、一旦白紙には戻しました。

さらに全部の停留所もすべて検討からはずしました。はずした状態でルートが大枠に確認させて頂いて、駅へ帰ってくる時間帯を50分という想定でつくったものでございます。決して2ルートをそのまま4ルートにしたわけではございません。

また、300m以内というのは、停留所の位置の選定は完全に行っているわけではございません。

基本が300mということですが、先程いわれたとおり県道など手続が必要な場所もありますので、そういったところも含めて考えていきたいと思っております。

商業施設の安全につきましては、4つの商業施設の現地確認を行いました。また、是非バスを入れていただきたいという商業施設もございます。安全対策は十分に考えてまいります。

また、JRとのダイヤにつきましては、ヘッドダイヤとすることを考えておりますが、どちらかの時間には間に合えばと考えています。JRは、ほとんどダイヤが変更することはありませんので、1時間単位にとすることを考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

また、広報につきましても、病院名だとか公共施設名等々を含めて、名前の標示を検討して行きたいと考えております。

**会 長：**

いま貴重なご意見をいただきましたけども、わたしのところもまだ仮でダイヤを組んでおりまして、今後まだ検討をしてまいります。

**委 員：**

ヘッドダイヤを組んでいながら、駅のダイヤとあっていないのは問題だと思っております。

**会 長：**

そこについては、いろんな角度から検討をさせて頂いておりました、商業施設、医療施設も検討して行かなければなりませんし、それから PR 方法につきましては、やはりもっと具体的に、事業所との間で詰めていきたいと思いますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

**委 員：**

商業施設の中でバス停ほどの辺に設置されるのでしょうか。交通係長が一緒に行ったと思うのですが。

**事務局：**

まだ具体的な所は決まっています。

**委 員：**

各商業施設は、非常に小さな交通事故が多い、特にマックスバリュさん、バローさんはですね、小さな事故が非常に発生しています。

停留所をどこに持って行くか、あまり駐車場の奥の方はですね、そういうところではなく、端っこまでとはいかなくても、駐車スペースが粗い所とか、そういう所を見て頂くと良いのかなと思います。

利用者の方からすると一番近いところが良いのかもしれませんが、他の車と交錯しないところに設置して頂くことを検討して頂けると良いのかなと思います。

**事務局：**

ありがとうございました。そういったところも含めながら、ターゲットはお年寄りであります。なかなか荷物を持って駐車場をうろうろしていただくと、また怪我のもとになりますので、安全面も配慮しながら場所等は選定していきたいと思っております。

**委 員：**



バス停の位置は各路線については、決まっていないということですね。

前回、バスに乗らせて頂いた時は、交差点の直近にバス停があったりとか、危険な箇所があったりとか、そういった場所は無くして新たに立て直すということでもよろしいですかね。

その中で前回も少しあったと思いますけども管理者、道路管理者への手続きをされているのかという質問も出たと思いますけども、占用手続きとか、そういった手続きは進めて行って見えるのかということと、後、4ページの料金の関係ですけども、これにつきましては、高齢者の割引などを検討してみえるのか教えて頂きたいと思います。

#### **事務局：**

一つ目でございます。前回、見ていただきまして、交差点の中に停留所があるなどいろいろとありまして、不具合等々もあります。警察署とも相談しながら、設置できる条件を教えていただきながら、検討を進めておりますので、皆さんにお知らせしていきたいと思っております。

以前は、道路占有等の許可を取ってなかった場所もございますので、今回は、改編に伴いまして各道路管理者に申請などをして参りたいと思います。

また、料金のお年寄りの割引の検討ということでございますけども、以前、ワークショップでも、お年寄りは100円ならば支払っても良いというご意見が沢山ございました。そういったご意見も踏まえて100円ということで考えております。

沢山利用される方は定期券だとか、回数券を利用して頂ければ、恩恵が来ないということではないと思います。また障がい者や未成年者に対しましては無料で考えております。

#### **委員：**

今のですね、高齢者割引の関係ですけども、高齢者の意識管理をして欲しいというのがございます。

やはり高齢者の方の交通指導、事故防止の観点から、免許証返納制度などを応援して頂くとともに、それと同時に高齢者の方に使っていただくということで支援制度を検討していただければと思います。

それとですね、垂井駅で乗り継ぎ可能となっております、この4ページの右下側の料金ですが、乗り継ぎの場合どうなるか教えてください。

**事務局：**

高齢者の方にバスを利用して頂くために、高齢者の免許返納も進めて頂きたいという点につきましては、垂井署とも連携しながら進めて参りたいと思います。

また、乗り継ぎの場合のバスの運賃についてのご質問ですが、基本的には乗り継いでもお金は頂くという制度でございます。乗り継ぎ券を発行したらどうかなど、いろいろ検討してまいりましたが、最終的にはこのような公共交通を導入しているところに聞いて見ましても、近隣市町村では乗り継ぎ券を導入しているところはなく、お金を頂いているという仕組みでいっておられるようですので、当町としましても最終的には、1回で目的地まで乗れば得であるという考えで行きたいと思います。

**委員：**

他の市町でも公共交通の路線の再編で見直して行かれるところがありまして、バスでも幹線と支線といいますか、コミュニティバスと組み合わせで、目的地に行く時があります。

そういった場合は、いまご指摘のとおり、単純に事業者毎の料金体系ですから乗り継いで倍になってしまうということがありますので、乗り継ぎについて、何かしら対応が必要だという議論がでています。

垂井町は計画策定中なので、他の市の話を見せて頂きますが、ちなみに設備投資としてICカード化するとかをやれば、初めてバスに乗る人が乗り継いだ場合については、電磁データで割引とか出来るのでしょうか、さすがにコミュニティバスで、そこまでの投資はできないと思いますので、乗り継ぎ対策は事業者さんによるというところだと思います。

それと別の件ですけど、ちがう形で〇〇委員がご指摘されたのですが、PDCA サイクルの関係で、本来この計画というのはどういった計画なのか、総合計画みたいなものであるのか、コミュニティバスの運行だけに焦点をあてた計画であるのかで大分違います。

仮に、総合計画みたいなイメージで、最後の方にまちづくり協議会まで書いてあるので、総合計画を意識して書いてあるのでしょうかけども、そういうレベルの計画書であるならば、この資料自体が策定中のものを断片的に記述してあるのだと思います。

そういったところの前に、公共交通のあるべき姿みたいなのがあって、それを実現するこの資料中の目標ですよという、そういう言い方が必要なのではないかと思います。

この資料自体が断片的なものなので、その前のものがあるのか無いのか分からないので何とも言えないのですが、これを PDCA サイクルで 1 から 8 までの目標を全部評価する。

毎年評価して見直すということにされるのであれば、〇〇委員のおっしゃるとおり、目標値と基準値を設定しないと評価のしようが恐らく無いと思います。逆にそういうものが設定出来ないものは目標にすべきではないと思います。それが、ちょっとごっちゃになっているように思います。

目標の中の具体的な施策の 4 番のバス利用不便地区の解消にありますけど、これというのは、こういう路線をひけば、目標は何にもなしでは無くて、施策の中に盛り込んであれば、これ自体評価する必要はないと思います。

そういった観点で目標の整理をされた方が、PDCA サイクルに取り組むのであれば、もう少し絞り込んだ方が良いでしょう。

絞り込む際に目標があるのかないのかという際にも先程申しました、あるべき姿を考えてみますと、そもそも必要の無い目標があるのかなと思います。

恐らくお話を聞いていますと、現実的には高齢者の方を念頭においたコミュニティバスであると思いますので、そう言うための目標に絞った方が良いでしょうのではないかと思います。

#### 事務局：

今、ご指摘を頂きました内容でございますけども、目標値が全くないというところで、ご心配のところがあると思いますが、今回の見直しを実施するにあたり、お年寄りをターゲットとして、何とか外出の機会をつくり活発に出かけて頂きたいという理念をもとに作り上げてきております。

全くの新規路線設定の中で目標を設定しにくい、8 番あたりで行きますと

難しいところもあります。

今回は、巡回バスの改定という所で、これらのことを押さえていきたいという思いで目標として出させて頂きました。

貴重なご意見を参考にさせて頂きまして、もう少し具体的に考えて行きたいと思います。

会 長：

総合計画との位置づけは無いの。

事務局：

そこまでは無いです。

委 員：

いま確認されましたけども、目標の策定の前に交通計画の策定と言うことで1章から8章までございました。

それと新しい路線再編成の話と同一のものとして、その計画書というのは、この公共交通会議の場に出して審議するつもりがあるのかどうなのか。この交通計画と再編成の話が関係あるのかどうか、いまいち、よく分かりません。

それと、この数値が分かりにくいということですけども、地区利用率についても80%以上を目標とするならば、80%でと言ってしまえばそれで済む話です。

バスの利用率でも、この地区で1%あげるとすれば、1%でも数値が上がれば、これで目標値に入ってしまうよね。

だから目標値なんてものは、作ろうと思えばすぐに作れるので、そういったことも検証としてやっていただければ良いのでは無いかと思います。

そうすると案が出るもので、案をもってバスを走らせないと何も後で検証できないようなバスになってしまうと思います。

事務局：

今のご意見については、初めに交通計画の構成を述べさせて頂きました。

路線再編につきましては、お話した交通計画中、第6章、7章の部分を説明

させて頂いたところでございます。

交通計画案は3月に作成しまして、次の機会にはお目通しして頂きたいと考えています。このことは以前にもご説明させていただきましたので、ご理解いただけると考えています。

それと目標値が簡単に出来るというお話もございました。もう一度精査をさせて頂きたいので、よろしく願いいたします。

**会 長：**

そのほかよろしいか。

**委 員：**

私、タクシー業で全く関係ないことで大変言いにくかったのですが、高齢者の方に活発に動いていただく機会の創出をされるということで、よその町のことで申し訳ないのですが、神戸町さんがやってみえるバラタクですが、わりと好評です。

これとは全く別の案件で考えて頂ければ結構ですが、そのようなことも併せて検討して頂くと大変よろしいかと思えます。

新しいバス運行の際に効率性を高めて頂くために、一緒に考えて頂ければと思います。

**事務局：**

ご意見として承ります。

**委 員：**

すこし確認したいのですが、駅から近くの方は良いと思えます。

しかし、例えば岩手の谷だとか奥の方の人たちが、朝の行きは良いと思えますが、帰りの時間帯に、高齢者の人たちが買い物、病院に行って帰るときに乘ろうと思った場合、例えば高校生の人たちが、雨降っているからと大勢乗られた場合、お年寄りが乗れなかったということが、もし起きた場合どうされるのか。一つ配慮して頂きたいと思えます。その辺いかがですか。

**事務局：**

明確な想定はしていませんが、もし乗れない場合、考えているのは14人乗りのロングでございますので人数に制限がございます。

万が一そういうことが起きた場合は、例えば、老人福祉センターに行っていたのですが、バスが来ないと高齢者の方から連絡がありました。実際にはバスは来ていたのですが、中にみえて通過してしまいましたという事例がありました。そういうときは、公用車を使って最終的に送り先まで届けるというような対応になるかと思えます。無いようにしたいとは思っています。

**委員：**

基本的には予備車をもって対応することになるかと思えます。状況にもよりますし時間にもよりますけども、乗る人が増えると個人的には思います。

14人乗りですと、お客さんがどれ位になるかわかりませんが、乗務員を抜くと13人になってしまいますので、超える可能性はあると思えます。その辺の管理はしっかりして頂きたいと思えます。

**事務局：**

そういったことを含めながら考えて行こうと思えますが、経費の面もありますので、併せて検討したいと思えます。

**委員：**

委託業務の中に入れば、それほど大きな問題にはならないと思えます。

**事務局：**

バス車両の関係は運行経費と違います。バスは我々、町が持っているバスで運行を考えております。契約相手方とバス車両との関係ではございません。

町が車を用意することになりますので、これ以上、バスに経費をかけるのは難しいので併せて検討させて頂きたいと思えます。

車両が無いわけではございません。バスもありますしワゴン車も1台保有しておりますので対応できるであろうと考えています。

**会 長：**

その他、よろしいか。本日は貴重なご意見を大変沢山いただきました。

今後、皆様から頂戴しましたご意見をもとにパブリックコメントを経て、計画策定に入っていくと思います。次回の交通会議に繋げて参ります。予定としては平成27年6月頃を予定しております。その時に交通計画案をみなさんにご審議頂きたいと思います。

これで議長の任をとかせていただきます。事務局へお返しします。

**事務局：**

貴重なご意見、課題などをいただきましてありがとうございます。いろんな分野を精査して交通計画を立てて参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

皆様には公私ともお忙しい中、1年間垂井町の公共交通に関し議論のお時間を頂きました。どうもありがとうございました。

これをもちまして第3回目の交通会議を終了させていただきます。